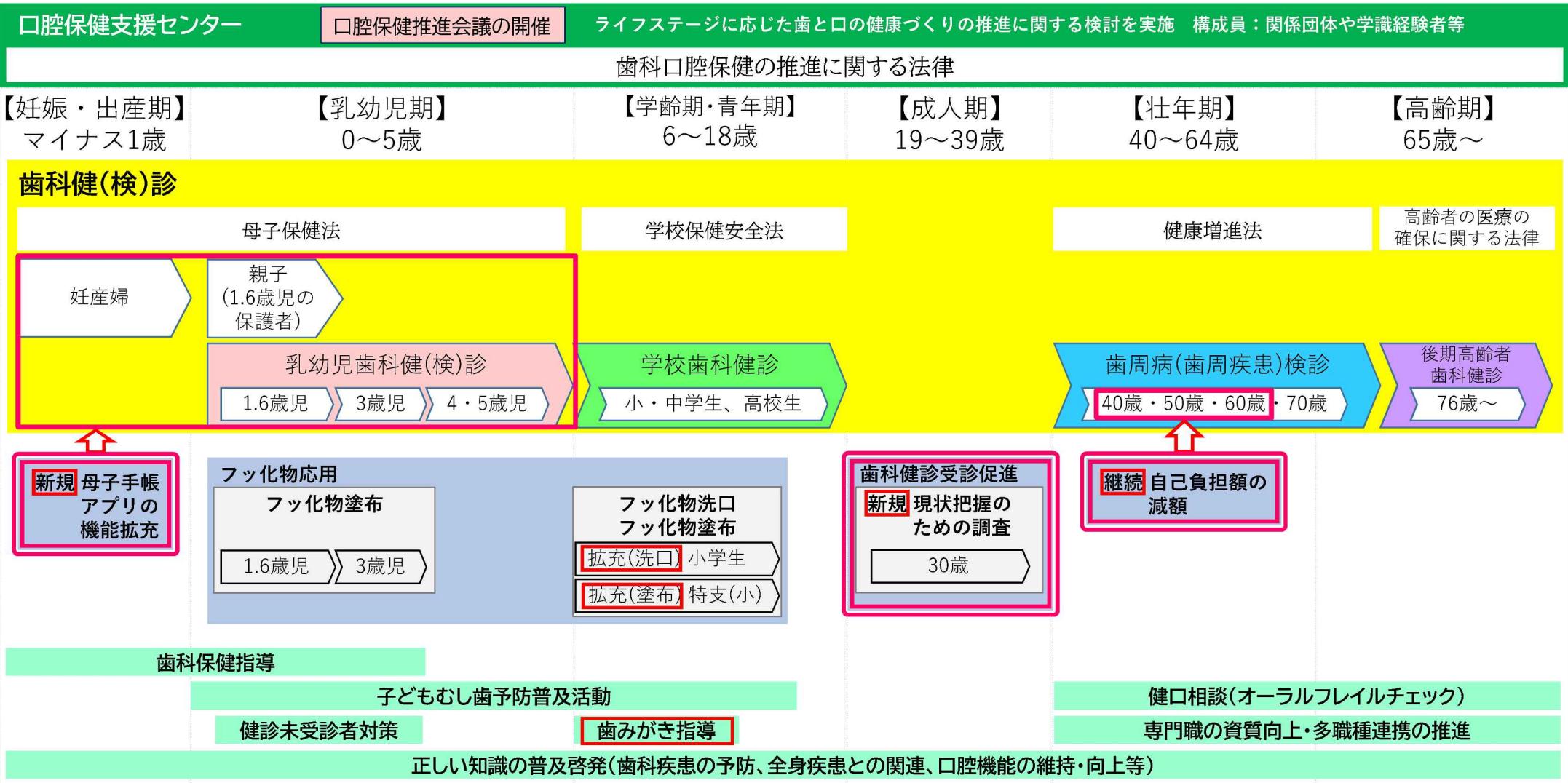


資料4-1①

生涯を通じた歯科口腔保健の推進



資料4-1②

健康課題

オーラルヘルス

子ども

成人

課題

1

むし歯のない子どもの割合が低い

2

乳幼児歯科健康診査の受診率が低い

3

進行した歯周炎のある40歳の割合が高い

4

喪失歯のない60歳の割合が低い

現状

年齢	むし歯のない者の割合	
	直近値 (R3)	政令市比較
3歳児	86.8%	16位
12歳児	58.7%	20位

※出典①

ワースト1

年齢	歯科健診受診率	
	直近値 (R3)	政令市比較
1歳6か月児	75.8%	19位
3歳児	73.5%	19位

※出典①

ワースト1

年齢	歯周炎のある者の割合	
	直近値(R3)	(参考値) H28 全国平均 ※40歳代
40歳	51.9%	44.7%

※出典②

年齢	(参考値) H28 全国平均 ※24歯以上の者	
	直近値 (R3)	(参考値) H28 全国平均 ※24歯以上の者
60歳	50.0%	74.4%

※出典②

対策

R5～R8強化

【切れ目のないむし歯予防】

- フッ化物洗口の実施拡大
→全市立小学校での実施
- フッ化物塗布の対象学年拡大
→全市立特支小学部での実施

~~新~~子どもの“健口力”アップ事業

【保護者世代のライフスタイルに合わせた歯科健診関連DX】

- 母子手帳アプリの機能拡充

~~新~~ICTを活用した子育て支援業務

【若い世代・就労世代の歯科保健に関する現状把握】

- 郵送による歯周病リスク検査とアンケートの実施

~~新~~働く世代のオーラルヘルス推進事業

【更なる歯周病予防の推進】

- 歯周病検診の受診率向上に向けた自己負担額の引下げ

~~新~~歯周病予防推進事業

R8

目標値
※暫定

※調整中

※出典①：令和3年度乳幼児歯科健康診査結果、令和4年度政令指定都市母子保健主管課長会議資料
出典②：令和3年度歯周病（歯周疾患）検診結果、平成28年歯科疾患実態調査

学校における歯と口の健康づくり推進計画(関連指標)
進捗状況

令和5年6月
教育委員会学校保健課

施策の具体的な取組み

【柱1】生涯を通じた歯と口の健康づくりの基盤となる望ましい生活習慣の形成

指標	R3年度		達成状況	R8年度 目標値
	予定値	実績値		
食育指導率 〔小学校〕	79.1%	※	○	85%
	16.1%	※	×	35%
歯科衛生士等による歯みがき指導校実施率〔小学校〕	0.0%			100%
全国小学生歯みがき大会への参加校率	26.4%			50%
給食後の歯みがき実施校率 〔小・中・特支〕	12.1%		×	80%

※計画では、R2年度数値(小学校76.7%、中学校4.8%)を計画当初値として掲載

【柱2】むし歯治療、むし歯予防のための歯科受診の推進

指標	R3年度		達成状況	R8年度 目標値
	予定値	実績値		
歯科健診後の歯科受診率 〔小・中・特支〕	32.6%	34.1%	×	50%
医療券利用率 〔小・中・特支〕	40.4%	42.8%	×	60%

【柱3】フッ化物によるむし歯予防の普及啓発の強化、フッ化物洗口法等の推進

指標	R3年度		達成状況	R8年度 目標値
	予定値	実績値		
フッ化物洗口の実施校における児童の実施率 〔小学校〕	83.4%	78.4%	×	92%
フッ化物塗布の児童の実施率 〔特別支援学校小学部〕	65.5%	59.3%	×	80%

※計画では、R2年度数値(67.9%)を計画当初数値として掲載

推進計画の「目標」

指標	R3年度		達成状況	R8年度 目標値
	予定値	実績値		
むし歯のない生徒の割合 (中学校1年生)	58.7%		○	67.9%
	※1			
未処置歯のある児童生徒の割合 〔小学校〕	23.6%		×	12.5%
	※2			
〔中学校〕	18.8%		×	10.2%
	※3			
中学生における歯肉に炎症所見を有する者の割合	22.8%			
	(H30年度)			
	学校歯科保健調査報告書			
	健康づくり推進プラン目標値			
	20.0%	19.7%	○	18.6%

※1 計画では、R2年度数値(57.9%)を計画当初数値として掲載

※2 計画では、R2年度数値(25.0%)を計画当初数値として掲載

※3 計画では、R2年度数値(20.5%)を計画当初数値として掲載